

1 調査の概要

- (1)実施日 令和4年4月15日(金)
- (2)実施のねらい ①令和4年度に調布市立中学校に入学した生徒の、小学校までの学習内容の理解度を図る。
②調布市立小・中学校教員が、本調査の結果を踏まえ、授業改善に役立てる。
- (3)教科等 ①国語、数学(小学校学習指導要領の範囲までの内容)
②意識に関する調査
- (4)対象 中学校第1学年生徒
- (5)実施生徒数 国語(1,380名)、数学(1,381名)、意識調査(1,380名)
- (6)委託業者 (株)ベネッセコーポレーション
- (7)調査で使用されている用語等について
 - ①平均正答率：その集団における生徒の正答率
 - ②四層割合：正答率を上位(A層)から最下位(D層)まで25%間隔で四つに分けた層

3 主体的に学習に取り組む態度 質問別回答状況

(1) 国語

質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)
質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	調布市	66.1
	全国	62
	全国との差	+4.1
友だちが書いた文章や話したことを参考に、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	調布市	87.3
	全国	82.5
	全国との差	+4.8
自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書いているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	調布市	82.6
	全国	78.9
	全国との差	+3.7
言葉を運んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	調布市	86.5
	全国	82.6
	全国との差	+3.9
本で読んだことを参考に、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	調布市	72.1
	全国	70.1
	全国との差	+2.0
敬語や丁寧語に、どのようなかめ込められているかを考えている。	調布市	84.4
	全国	81.9
	全国との差	+2.5
はっきりと正確に伝えるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	調布市	87.5
	全国	85.2
	全国との差	+2.3

(2) 数学

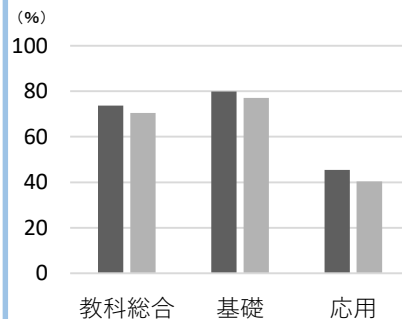
質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)
数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	調布市	88.7
	全国	88.6
	全国との差	+0.1
解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	調布市	82.2
	全国	84
	全国との差	-1.8
新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	調布市	86.2
	全国	84.0
	全国との差	+2.2
アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	調布市	74.3
	全国	72.3
	全国との差	+2.0
文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	調布市	76.2
	全国	76.9
	全国との差	-0.7
1つの問題について、これまでに習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	調布市	80.5
	全国	76.3
	全国との差	+4.2
問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけて、より良い解き方を考えるようにしている。	調布市	73.8
	全国	74.1
	全国との差	-0.3

2 調布市及び全国の各教科における平均正答率

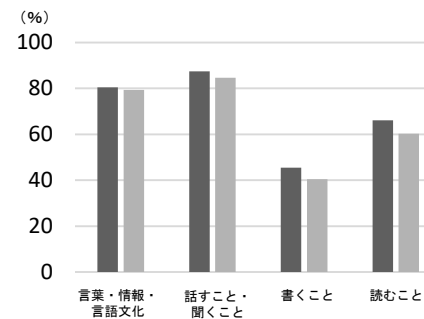
■調布市 ■全国

(1) 国語

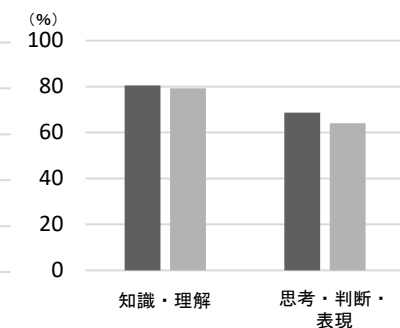
①国語：平均正答率



②国語：平均正答率（領域）



③国語：平均正答率（観点）



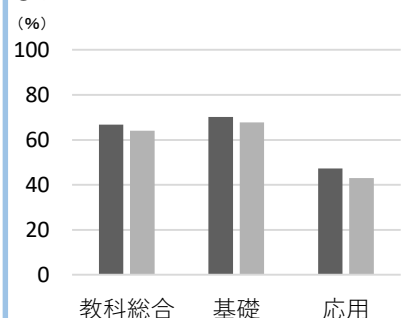
平均正答率	調布市	全国	全国との差
教科総合	73.7	70.5	+3.2
基礎	79.9	77.1	+2.8
応用	45.4	40.4	+5.0

平均正答率	調布市	全国	全国との差
言葉・情報・言語文化	80.5	79.3	+1.2
話すこと・聞くこと	87.4	84.6	+2.8
書くこと	45.4	40.4	+5.0
読むこと	66.1	60.3	+5.8

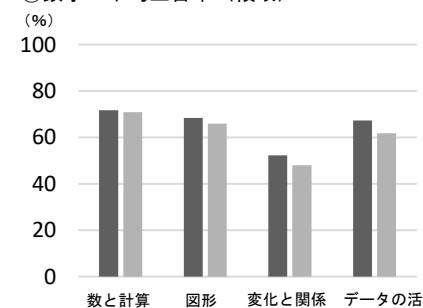
平均正答率	調布市	全国	全国との差
知識・理解	80.5	79.3	+1.2
思考・判断・表現	68.6	64.0	+4.6

(2) 数学

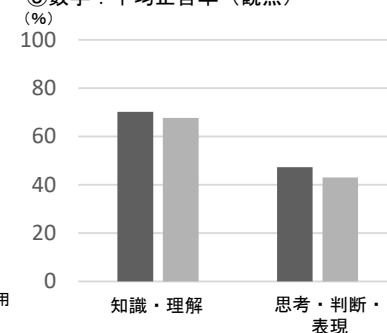
①数学：平均正答率



②数学：平均正答率（領域）



③数学：平均正答率（観点）



平均正答率	調布市	全国	全国との差
教科総合	66.8	64.0	+2.8
基礎	70.2	67.7	+2.5
応用	47.3	43.0	+4.3

平均正答率	調布市	全国	全国との差
数と計算	71.8	70.9	+0.9
図形	68.4	66	+2.4
変化と関係	52.3	48.1	+4.2
データの活用	67.3	61.8	+5.5

平均正答率	調布市	全国	全国との差
知識・理解	70.2	67.7	+2.5
思考・判断・表現	47.3	43	+4.3

4 意識調査について

(1) 質問別肯定群回答割合 (%)

- ・肯定群回答割合は、選択肢1と選択肢2を選択した生徒の割合を表示している。
- ・抽出した質問項目は、学力層別において、A層とD層に分布している生徒における回答の差が大きいもの(A層とD層との差が20ポイント以上)としている。
- ・網掛けの項目は、全国を下回っている内容としている。

視点	要素	質問内容	調布市	全国	全国との差
学びの基礎力	豊かな基礎体験	本や新聞を読んでいる。	72.3	65.7	+6.6
	豊かな基礎体験	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	54.5	64.3	-9.8
	自ら学ぶ力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	67.6	67.2	+0.4
	自ら学ぶ力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	58.0	61.0	-3.0
	自ら学ぶ力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	74.3	70.4	+3.9
	自ら学ぶ力	自分で学習の計画を立てている。	59.7	61.9	-2.2
	学びを律する力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	61.6	63.1	-1.5
	学びを律する力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	73.2	73.5	-0.3
社会的実践力	問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	74.3	70.2	+4.1
	問題解決力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	64.1	65.1	-1.0
	問題解決力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	69.4	68.7	+0.7
家庭学習力	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	82.4	81.6	+0.8

(2) 全国との比較 (%)

	調布市	全国	全国との差
学びの基礎力	69.5	69.5	0
社会的実践力	70.1	69	+1.1
学級力	70.5	70.3	+0.2
家庭学習力	73.1	73.3	-0.2

(3) 調布市の経年変化 (%)

	R4	R3	R2
学びの基礎力	69.5	69.2	68.2
社会的実践力	70.1	68.2	66.9
学級力	70.5	69.3	68.2
家庭学習力	73.1	72.9	72.4

5 結果の分析及び改善策について

○成果 ▲課題 ◆課題となった設問 ◇改善策

(1) 「知識・技能」及び「思考・判断・表現」

①国語

- 全ての項目で全国の平均正答率を上回っている。
- 特に思考力・判断力・表現力等が全国と比較して身に付いている。
- 説明的文章を読む問題の平均正答率が全国を大きく上回っている。
- ▲「書くこと」「読むこと」において、A層とD層の差が50%以上ある。
- ◆漢字の書き【さくらの花がさく】(平均正答率80.1% 全国との差-7.4)
- ◆述語に対応する主語を選ぶ(平均正答率79.7% 全国との差-4.2)
- ◆象形文字の漢字を選ぶ(平均正答率54.2% 全国との差-1.7)
- ◇生きて働く知識・技能を身に付けるために、教科等の学習を通して習得した知識・技能を他教科の学習等で活用することができるようにするなど、カリキュラム・マネジメントをより一層実現していく。
- ◇一人1台タブレット端末を活用するなどして、特に下位層への指導の個別化を図り、個に応じた指導の充実を図る。

②数学

- 全ての項目で全国の平均正答率を上回っている。
- 特に思考力・判断力・表現力等が全国と比較して身に付いている。
- ▲教科総合の正答率において、A層とD層の差が50.3%ある。
- ◆ $6/7 \div 2/3$ を計算する(平均正答率83.6% 全国との差-2.4)
- ◆ $4/9 \times 15/16$ を計算する(平均正答率85.0% 全国との差-1.4)
- ◇習熟度別指導では、習熟度に応じた学習課題を設定し、教材・教具や指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。

(2) 主体的に学習に取り組む態度

①国語

- 全ての質問において肯定的回答の割合が全国を上回っている。
- ◆質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている(全国を上回っているものの肯定群回答割合が66.1%と低い)
- ◇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続する。

②数学

- 「既習事項を活用して様々な考えに気づくこと」について、全国を大きく上回っている。
- ◆解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている(肯定群回答割合82.2% 全国との差-1.8)
- ◆文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている(肯定群回答割合76.2% 全国との差-0.7)
- ◆問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見付け出して、より良い解き方を考えるようにしている(肯定群回答割合73.8% 全国との差-0.3)
- ◇児童・生徒が自らの学習を振り返る機会を設け、児童・生徒の「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」を価値付けていく。

(3) 意識調査

- 「社会的実践力」「学級力」が全国を上回っている。
- 「学びの基礎力」「社会的実践力」「学級力」「家庭学習力」全てにおいて、令和3年度を上回っている。
- ▲「家庭学習力」が全国を下回っている。
- ◆その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる(肯定的回答割合46.9% 全国との差-6.8)
- ◆新しく習ったことは、何度もくり返して練習している(肯定的回答割合58.0% 全国との差-3.0)
- ◇児童・生徒が自分の目標に向かって取り組めるように、単元や授業のめあてを児童・生徒と共有したり、児童・生徒が自分の学習を振り返って次のめあてを立てたりできるようにする。